

令和6年度足柄上地区在宅医療・介護連携推進事業地域講演会 「認知症とともに生きる」のご報告

12月15日(日)に、大井町生涯学習センターホールで、「令和6年度足柄上地区在宅医療・介護連携推進事業地域講演会」を開催しました。

「認知症とともに生きる」～誰もが安心して認知症になれる足柄上地区に～と題して、認知症の当事者である丹野智文さんにご講演いただきました。

39歳で認知症と診断されながら、10年後の現在も会社勤務を続けつつ、認知症の本人のための相談窓口の活動や自身の経験を語る講演など活躍していらっしゃいます。

前半は丹野さんの講演、後半は丹野さんと NPO 法人地域生活サポートセンター理事の小森由美子さんとお二人で会場の皆さまとの質疑応答を行いました。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



〈ご参加いただいた方の感想〉

- ・症状が出始めた時からの様子を分かりやすくお話ししていただき、失敗を工夫して克服し、成功体験につなげることが大事とよく分かりました。
- ・丹野氏の体験談は「あ～、そうなんだ」と思うことが多々あり、「ともに生きる」ということが理解できました。
- ・元気になれた。当事者と話すことで、その人のことを知ることが出来る。認知症に対する偏見がなくなると良いと思った。「心配はして、でも信用して」という言葉が心に残りました。
- ・今日の学びを医療現場に活かします！大変勉強になりました！ありがとうございました！！

